

みんなちがって あたりまえ でも 子育てに 不安を 感じる すべての方へ
 子育て おうえん ちょっと 休憩しませんか？




「ミルクティー」

村松小学校特別支援コーディネーター 下田 誉子

では、まず、あまいミルクティーをどうぞ。

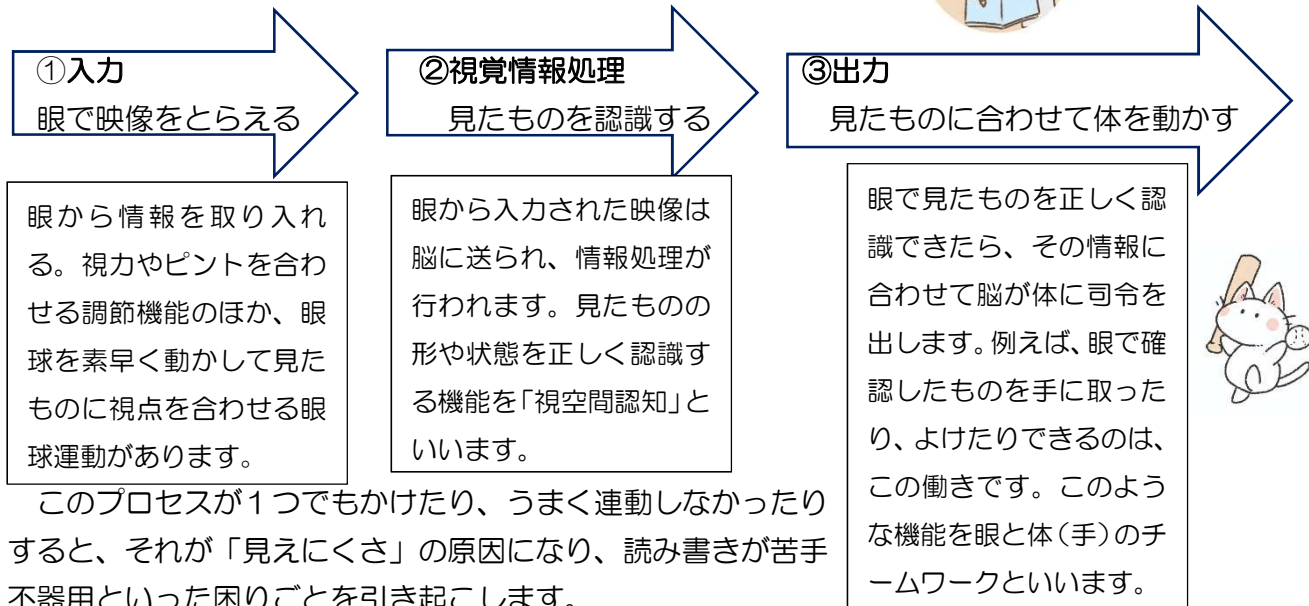
今回は、見る力についてのお話です。

視力はよくても、「見えにくさ」を抱えている子どもがいます。毎日の生活の中で、下のような困りごとはありませんか？もしかしたらそれは「見えにくさ」のサインかもしれません。

<input type="checkbox"/> 本を読むとき、字や行を読み飛ばしたり、何度も同じ行を読んだりしてしまう。	<input type="checkbox"/> 頭を動かしながら本を読む	
<input type="checkbox"/> ていねいに書いても、字がとてもきたないマスからはみ出す	<input type="checkbox"/> 板書を写すのに非常に時間がかかる	
<input type="checkbox"/> ものや人によくぶつかる	<input type="checkbox"/> ボールをうまくキャッチできない	
<input type="checkbox"/> はしやはさみをうまく使えないなど、手先が不器用	<input type="checkbox"/> 集中して見るのが苦手で、人の話を聞くとときョロキョロしている	

「見えにくさ」の正体

「見る」機能の3つのプロセス



このプロセスが1つでもかけたり、うまく連動しなかったりすると、それが「見えにくさ」の原因になり、読み書きが苦手不器用といった困りごとを引き起こします。

この改善のため、通級では、必要なお子様にはビジョントレーニングを取り入れています。

眼の動きを鍛えることで、脳の前頭葉も鍛えられます！（裏は付録の目の体操です）

これらのことで気になることがあれば、学校へ（下田まで）お気軽にご相談ください。

ミルクティーの味は、いかがだったでしょうか。では、次は12月号で。